



病院看護副総師長
兼 外来看護課長 森 春香

新病院に移転して半年が過ぎました。みどり病院外来看護課は移転して、すこやか診療所看護課と一つになりました。外来看護師の働く場所は一般外来・救急外来・予約外来・小児科・内視鏡室・すこやか診療所訪問診療・健診室・手術室など多岐にわたっています。一般外来では通常の問診の他に、緊急性の判断・対応もしています。特に胸痛は一刻も早く医師の診察に繋げる必要がある病気もあるため、症状のある方は医事課・検査科と協力して、はじめに心電図をとり医師に確認します。このとき救急対応が必要であれば、救急担当医師に依頼して、大きな病院に救急搬送することもあります。さらに、「発熱・風邪症状」の方も隔離をしながら対応を継続しています。

予約外来では、まず前回受診からの生活についてなど問診を行い、医師の診察を受けていただいています。また、定期通院をしている患者様の誕生日に、もしもの時のための連絡先や介護保険の情報・かかりつけ薬局についてお聞きし、心電図やレントゲン・便潜血検査などをおすすめしています。糖尿病や高血圧・高脂血症など新たに



問診室 20番(受付後 20番のカゴに診療ファイルを入れて下さい)

診断や処方された患者様には、それぞれの病気と「どのように付き合っていくことが大切なのか」を説明し、予約の日に受診されなかった患者様に電話をする対応もしています。内視鏡室では検査前にはカルテを確認し、より患者様が安全に安心して検査が受けられるように、医師と連携して内視鏡検査を行っています。定期通院しているからこそ、異常の早期発見に繋がり、困ったときの窓口になれるように日々皆さまと関わりたいと思っています。



みどり病院
内科医師 鈴木 圭

「チーム医療に参加しよう！」



今回久しぶりに書く機会をいただくにあたって、前回に書いた内容を読み返してみました。当時私はまだ医師になって2年目で、「初期研修医としてご迷惑をおかけしますが頑張ってください。」などと書いておりました。あれから数年がたち、それなりに経験を積んで診療にあたりておりますが、まだまだ至らないところもあり、まわりのスタッフの皆さんに支えられております。開き直るつもりではありませんが、それでいいと

も思っています。独りよがりにならないよう、チームとなって協力して医療活動にあたっていく、それが当院の強みであろうと思っています。まさに「チーム医療」です。しかし、「チーム医療」において一番重要なのは、実は患者さん自身です。もちろん治療のために医学的に必要なことはあり、治療方針をまとめたガイドラインに従って診療を行うことが多いのですが、それは絶対的なものではなく、患者さんの意思や状況などを考えて診療を行います。よい医療を受けるためには、患者さん自身に「チーム医療」に加わっていただく必要があるのです。自分の健康に関心を持って、自分の思いを伝えていただくなど、どんなに参加していただきたいと思っています。皆さんと一緒に、この地域の健康とくらしを守っていく、その力になりたいと改めて感じております。今後とも、よろしくお願いたします。

拝啓、65歳のあなたへ
～肺炎球菌ワクチン接種時期変更のお知らせ～

岐阜勤労者医療協会理事長 松井 一樹

昨年折込みチラシで、『拝啓、64歳のあなたへ～肺炎球菌ワクチン接種のすすめ～』として、64歳でバクニューバンス接種のご案内をしましたが、乳児に接種する肺炎球菌ワクチンが新しくなり（プレベナー13⇒バクニューバンス（15）⇒プレベナー20と変更）、成人肺炎球菌ワクチン接種スケジュールの変更をしました。今年64歳になる松井の接種プランも変更となり、来年接種開始となります。下表の⑤になります（65歳の年に成人肺炎球菌ワクチン（ニューモバックス）の公費接種券が市町村より送付されます。まずは、65歳のうちに、接種しましょう。

そして、1年後（1年あけて）、『プレベナー20』を接種して終了です。今までに成人肺炎球菌ワクチンを接種して、追加接種をどうするか、あるいは今後の接種につきましては、ここに記載すると、接種プランが多く、混乱の恐れがあるため、下表接種プランを参考にいただき、外来窓口、あるいは、かかりつけ医師とご相談ください。

成人肺炎球菌ワクチンについて

2024.9 みどり病院、すこやか診療所、華陽診療所、こがねだ診療所

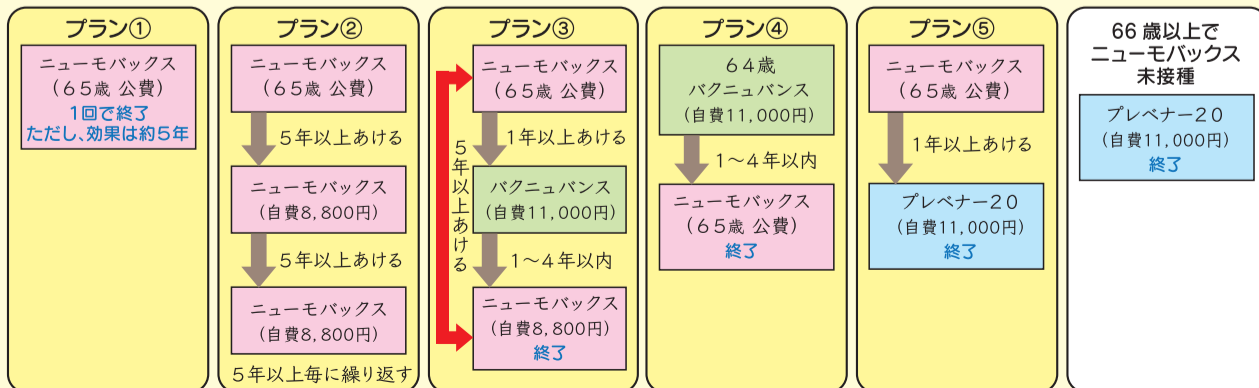
2024年4月から、公費で肺炎球菌ワクチンが接種できる方は、以下の方で、生涯で1回のみとなりました。

- ① 65歳の方(公費での接種は65歳の1年間です)
- ② 60～64歳で心臓や腎臓、呼吸器の機能に障害があり、身の回りの生活を極度に制限される方
- ③ 60～64歳でヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能に障害があり、日常生活がほとんど不可能な方

当院では、肺炎予防効果がより高まるとされている（日本感染症学会、日本呼吸器学会、日本ワクチン学会）以下の接種方法をお勧めしています。ご自分のライフプランに合わせて接種方法をご検討ください。

ワクチンの種類	ニューモバックス NP	バクニューバンス水性懸濁注シリンジ	プレベナー20水性懸濁注(2024.9承認)
接種回数	5年毎に接種を繰り返す	1回接種のみ	1回接種のみ
任意接種費用	8,800円(友の会7,700円)	11,000円(友の会9,900円)	11,000円(友の会9,900円)
公費	65歳のみ公費対象	自費(公費対象外)	自費(公費対象外)
長所	・対応できる血清型23個 ・安価 ・成人での実績あり	・免疫活性がより強力 ・プレベナー13より2種類多く対応。血清型3についてプレベナー13より優れた効果	・免疫活性がより強力 ・プレベナー13、バクニューバンス15より血清型が多く対応
短所	・有効期間が5年程度 ・5年毎に繰り返し接種が必要	・値段がやや高い	・値段がやや高い

【接種プラン：65歳で公費接種できるようスケジュールを決定することが推奨される】



新型コロナウイルスワクチン接種を強くお勧めします

岐阜勤労者医療協会理事長 松井 一樹

新型コロナウイルスの感染法上の位置付けが5類となった2023年5月～24年4月の1年間で、死者数が計3万2576人(65歳以上が約97%)に上ったことが、2024年10月24日一斉に報道されました(前日公表された厚生労働省の人口動態統計)。同時期の季節性インフルエンザの死者数は2244人でその約15倍と格段に多く、大部分を高齢者が占めています。政府は重症化リスクの低下を理由に新型コロナの類型を引き下げて日常生活の制約はほぼなくなりましたが、今も多くの高齢者が脅威にさらされているのです。

新型コロナは、ウイルスが次々と変異して高い感染力を持つ上、病原性はあまり低下せず、基礎疾患のある高齢者が感染して亡くなっているとみられます。

WHOは2024年も60歳以上の高齢者が新型コロナウイルスワクチンを接種することを推奨しています。

本邦では、2024年10月から2025年3月31日までの期間に**65歳以上の高齢者(心臓・じん臓・肺等身体障がい内部障害1級の方は60歳以上)**に限り新型コロナウイルスワクチン接種の公費接種が行われています。岐阜市の本人負担は2400円(関市と各務原市は2000円)です。

本邦では新型コロナウイルスワクチンは現在4種類以上(ファイザー社製 / モデルナ社製 / Meiji Seika ファルマ社製 / 他)が供給されています。いずれも mRNA が鍵をにぎる新しい技術で製造期間を劇的に短縮した画期的なワクチンでいずれのワクチンでも良いと思います。Meiji Seika ファルマ社製のいわゆるレプリコンワクチンは接種後の有効期間延長が期待される点が特徴ですが、難点は1本16人分で個別接種には不向きです。みどり病院では個別接種に扱いやすいファイザー社製を用いています。

65歳以上の皆さんが期間内に新型コロナウイルスワクチンを接種されることを強くお勧めします。是非かかりつけの先生にご相談下さい。